

## バルコ、医用画像表示用ディスプレイ 「Nio Fusion 12MP」日本国内新発売

### 2台のワークステーションを切り替え可能なKVM機能搭載により ディスプレイ設置スペースの削減・設備投資の削減を実現

バルコ株式会社（本社：東京 代表取締役社長：加藤 浩典、以下「バルコ」）は、2021年1月より医用画像表示用ディスプレイ「Nio Fusion 12MP」の日本国内販売を開始いたします。ベルギーに本社を置くバルコは、医用画像表示用ディスプレイについては30年以上の歴史を持ち、今回発売開始する「Nio Fusion 12MP」は、仕切りの無い30.9インチのワイド画面を採用し、多様なモダリティ画像を1画面表示に対応したFusionコンセプトの最新機種です。また本製品は、フラッグシップモデルである12MPカラーディスプレイ「Coronis Uniti」で培ったカラー画像表示の再現性向上機能と画像観察支援機能の多くをサポートしながら、必要機能を抑えることで「Coronis Uniti」よりも導入しやすい価格設定を実現しました。

本製品の最も大きな特長は、2つのワークステーション間でビデオとUSB接続双方の入力デバイスを切り替えることが可能な点です。複数台のディスプレイを使用する必要がないため、画像診断環境の省スペース化を図ることができ、また設備投資の削減にも繋がります。本製品は、乳がんの検査の一つであるマンモグラフィ検査をはじめ、他の様々なモダリティの画像表示にご活用いただけます。



#### ■ 医用画像表示用ディスプレイ「Nio Fusion 12MP」製品特長

##### 1. 30.9インチ・ワイドフォーマット仕様の液晶パネルを採用

ワイドフォーマットの画面を採用しています。効率よく柔軟な画面レイアウト表示に対応し、より快適な画像診断環境を提供するオール・モダリティ医用画像表示ディスプレイです。

##### 2. Steady Color™（リニアカラー表示）対応

カラー画像のリニア特性を反映し、ディスプレイ個々の色域から階調1ステップ毎の知覚的な色差が均等になるよう調整を行うことで、カラー画像表示の再現性を向上させました。また、モノクロ画像表示時にはDICOM GSDFに自動的に表示を行うため、いかなる場面でも最適な表示環境を提供します。

##### 3. キャリブレーション推奨輝度600cd/m2を業界最長※1 40,000時間保証

高度なバックライトコントロール技術により、キャリブレーション推奨輝度600cd/m2を業界最長※1の40,000時間（5年間）保証し、長期間安定した表示環境をサポートします。

##### 4. 2台のワークステーションを切り替え可能なKVM機能を搭載

KVM機能を有効にすると、2つのワークステーション間でビデオとUSB接続双方の入力デバイスを切り替えることが可能です。複数台のディスプレイ環境における画像診断環境の省スペース化を図り、設備投資を削減することができます。

## 5. スムーズなセーリングを実現するRapidFrame™

鮮明で焦点の合った動画を保証する※2 RapidFrame™ テクノロジーは、LCD パネルの超高速遷移速度と組み合わせ、ボケを抑えた画像を視認することができ、わずかなディテールまで比較的容易に検出できるため、ワークフローの速度を高めることができます。 RapidFrame™ と均一性補正技術を組み合わせることで、細部の診断をより簡単に確認することができます。

## 6. 常時画面補正を行うi-Guard™センサー搭載

ディスプレイの品質管理にも対応した、輝度・階調の常時自動補正を行うi-Guard™センサーをモニタ前面に搭載し、常に最適な画面表示環境を提供します。

## 7. SoftGlow™（間接照明）を搭載した薄型設計

筐体背面および画面下部に照度調整が可能なLEDライトを配置し、暗室環境下においても目の負担を最小限に留めます。

※1 当社調べ（2019年10月時点）

※2 Marchessoux, C., et al. (2011)

### <製品概要>

- ・対象市場 : PACS/電子カルテ使用時の医用画像表示用途(JESRA X-0093\*B-2017管理グレード1A相当) モダリティ装置との接続における画像確認用途
- ・販売ルート : 各PACS メーカー、電子カルテメーカー、システムインテグレーター、販売代理店など
- ・販売開始日 : 2021年1月より順次出荷予定
- ・価格 : オープンプライス

## ■デジタルマンモグラフィ画像表示用ディスプレイの技術開発について

### 一度で視認可能かつ目が疲れにくいサイズ設計

バルコでは、モノクロ画像を主体としたデジタルマンモグラフィ画像に加えて、超音波等のカラー画像を表示するニーズの増加を受け、2014年に世界初の12MPカラーディスプレイ「Coronis Uniti」を発売しました。

「Coronis Uniti」は従来の液晶パネルとは異なる、33インチ・アスペクト比3:2の液晶パネルを採用している点が最大の特長です。画像観察者が一度に視認可能な画面サイズでありながら、左右の視線移動距離を抑えることで疲れ目を抑制するような設計に仕上げました。

### カラー画像表示の課題を解決する、カラー階調補正技術「Steady Color™」

今回新発売の「Nio Fusion 12MP」にも搭載されているカラー階調補正技術「Steady Color™」は、「カラー表示の最適化」というテーマの元実装開始されました。多くの医用画像表示用ディスプレイにて用いられるGSDFに基づいた階調表示では、モノクロ画像表示の際には一定の表示環境が整っているものの、カラーでの階調補正や表示の安定化を目的とした規格でないこともあり、微細な色の表現ができていないかについては判断しがたい点が問題視されていました。また通常のディスプレイでカラー画像を表示する場合には、液晶パネルそのものの色に個体差があることもあり、見え方に影響する可能性がある点も課題と考えられていました。

バルコのカラー階調補正技術「Steady Color™」は、モノクロ階調は従来のGSDFカーブを維持しつつカラー階調はディスプレイ個々の色域から階調ステップ毎の知覚的な色差が均等になるように補正を行いながらリニア特性を反映することで、従来では識別が困難であった微細な色の変化も視認しやすく補正することを可能としました。

### 【関連URL】

バルコ ヘルスケアサイト : <https://www.barcohealthcare.jp/index.shtml>

### 【会社概要】

バルコは1934年にベルギーで創業（日本法人であるバルコ株式会社は1995年設立）しました。その歴史はラジオの製造から始まり、現在ではディスプレイ技術、プロジェクション技術、コラボレーション技術を核に、主にエンターテインメント、ヘルスケア、エンタープライズ向けに可視化ソリューションを開発、設計しているグローバルなテクノロジー企業です。現在では90か国以上に販売拠点をもち、2019年の連結総売上げは1,000Mユーロを超え、従業員約3,600名、400を超える特許を取得しています。